

全国学力・学習状況調査結果について

1、調査要領

○調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

○実施日 平成29年4月18日（火）

○対象 国・公・私立学校の小学校第6学年・中学校第3学年（悉皆調査）

全国 小学校 19,577校 中学校 96,131校

山形県 小学校 248校 中学校 98校

○調査内容

◇教科に関する調査（国語、算数・数学、）

- ・主として「知識」に関する問題（A）
- ・主として「活用」に関する問題（B）

◇生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・児童生徒に関する調査
- ・学校に関する調査

2、調査結果

【新庄市全小学校】

○国語A 新庄市平均 < 全国平均 < 県平均

- ・全国平均を下回り、県平均を大きく下回った

○国語B 新庄市平均 ≒ 県平均 < 全国平均

- ・県平均と同程度であったが、全国平均を下まわった

○算数A 新庄市平均 < 県平均 < 全国平均

- ・県平均を下まわり、全国平均を大きく下回った

○算数B 新庄市平均 < 県平均 < 全国平均

- ・県平均を下まわり、全国平均を大きく下回った

【新庄市全中学校】

○国語A 新庄市平均 < 全国平均 ≒ 県平均

- ・県平均及び全国平均を下まわった

○国語B 新庄市平均 < 県平均 ≒ 全国平均

- ・ 県平均及び全国平均を下まわった

○数学A 新庄市平均 < 県平均 < 全国平均

- ・ 県平均及び全国平均を大きく下回った

○数学B 新庄市平均 < 県平均 < 全国平均

- ・ 県平均を下まわり、全国平均を大きく下回った。

※ 小学校では、すべての教科で、全国平均を下回った。まずは、落ち着いて学習に臨めるような学習環境づくりが必要である。特に算数A、算数Bでは全国平均を大きく下回り、授業改善をしっかりと行っていく必要がある。

また、国語A、算数A問題で共に全国・県平均を下回り、基礎学力の向上が望まれる。教育課程の中にスキルの時間を設け、家庭学習の中でも力をつけられるようにしていく。

中学校では、すべての教科において全国・県平均を下回っているが、昨年度より改善傾向にある。

補充の時間や、家庭学習をしっかりとこなうなど対応していく必要がある。

☆質問紙の回答より

【学校質問紙：新庄市全小学校】

- 子どもたちの学習参加意欲や態度については、全国や県よりも高い。
- 教職員の研修がしっかりしており、学校全体として取り組んでおり、授業改善に努めている。
- 小中間で連携しながら、情報交換を密にして授業改善や教育課程の編成に取り組んでいる。
- 振り返りの活動や言語活動を適正に位置づけた授業の取組に弱い傾向がある。
- 補充や個に応じた指導が十分に行われていないととらえている傾向がある。

【学校質問紙：新庄市全中学校】

- 話し合い活動で、自分の考えをしっかりと伝えたり、最後まで話を聞いたりすることが全国や県よりも高い。
- 小中間で連携しながら、情報交換を密にして授業改善や教育課程の編成に取り組んでいる。
- 振り返りの活動や言語活動を適正に位置づけた授業の取組に弱い傾向がある。
- 補充や個に応じた指導が十分に行われていないととらえている傾向がある。

【児童生徒質問紙：新庄市全小学校】

- 将来に夢や目標を持っている割合が高い
- 自尊感情や規範意識、学習習慣等は全国や県よりも高い。
- 家庭学習をしっかりと行われている、と考えている
- 地域行事への参加や関心が高い。
- 算数に関して苦手意識がある。
- 携帯・スマホの使用時間、テレビ・ビデオの視聴時間は全国や県よりも長くなっている。

【児童生徒質問紙：新庄市全中学校】

- 学習活動に関する意欲は高い。
- 読書への興味は全国や県よりも高い。
- 地域行事への参加や関心が高い。
- 家庭での学習時間が県や全国と比較して少ない
- 携帯・スマホの使用時間、テレビ・ビデオの視聴時間は全国や県よりも長くなっている。

※子どもたちの学習参加態度や意欲については概ね良好な結果となっている。
※自己肯定感や規範意識、読書への興味関心などについて、県や全国よりも良い結果となっている。新庄市の「こころの教育」や「読書教育」の成果と捉えられる。
※地域行事への参加など高く、地域に根差した子供たちが育っている。
※家庭学習への取組や、携帯・スマホの使用時間、テレビ・ビデオの視聴時間について課題があり、家庭の協力が必要となっている。

☆今後に向けての取り組み

- ・各学校で結果について結果を分析し、授業の中で取り組んでいけるようにしていく。
- ・補充の時間が全国・県と比べて少ないので、補充の時間を確保するよう指導する。
- ・最後のまとめをしっかりと行い、本時で何を学習したのか児童生徒一人が理解した形で終えるようにしたい。できるかぎり補充の時間を確保し、定着を図るとともに、スパイス問題シートや過去の問題を活用して、思考力を育てていきたい。
- ・グループ学習や、学び合いを中心に学習が進められているが、学び合いで終わらず、練習問題や発展問題までできるような授業構成を考えていきたい。
- ・カリキュラムマネジメントをしっかりと行った年間計画を作成し、単元を通した授業づくりを進めていく必要がある。
- ・ドリルやスキルの時間を確保し、基礎的な内容の定着を図りたい。
- ・算数・数学については、全学年で系統性を意識しながら、共通した取り組みをしていく。

【新庄市教育委員会としての取り組み】

- ・小学校の5年生担任及び中学校2年生の数学担当者と落ち込みやつまずきの共有化を図り、県で作成している「つまずきの問題」を確実に取り組むようにしていく。そのために県のチェックシートを定期的に確認する。
- ・県で作成している「つまずきの問題」とともに、過去3年間の全国学力調査で、新庄市で落ち込んでいる問題を集約し、各学校に配付する。
- ・スパイス問題シート・単元末評価シートについて再度確認し、取り組み方法について確認する。
- ・よい取り組みをしている算数・数学の単元レベルの指導計画を各校に配布する。
- ・10月6日（金）探究型授業の公開発表会で、新庄小・中学校の取り組みを、新庄市内の学校に広めていく。
- ・生活リズムや家庭学習の実態を各家庭に広報する。

平成29年度山形県学力等調査から

○調査の目的

第6次山形県教育振興計画の「社会を生きぬく基盤となる確かな学力を育成する」という基本方針のもと推進する、探究型学習で育てたい学力及び学習状況について、児童生徒の実態を把握・分析し、探究型学習推進による成果と課題を検証して、学校における児童生徒への指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

○実施日 平成29年4月18日（火）

○対象 小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部の第5学年
中学校、義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部の第2学年

○調査内容

◇学力調査

- ・ 教科の枠にとらわれず、知識・技能を活用することができる思考力・判断力・表現力等を評価する合教科型・総合型の問題を出題する。
- ・ 小学校調査の問題は、国語、社会、算数、理科など複数の教科を合わせて出題し、中学校調査の問題は、国語、社会、数学、理科、英語など複数の教科を合わせて出題する。
- ・ 出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

◇学習状況調査

- ・ 調査する学年の児童生徒を対象に、探究型学習との関わりから、児童生徒の生活状況や学習状況について捉えていきたいことがらについて実施する。

1 学力調査結果より

【新庄市全小学校】

○平均正答率 新庄市平均 ≒ 県平均

○観点別正答率

◇広げながら考える力 新庄市平均 ≒ 県平均

◇深めながら考える力 新庄市平均 > 県平均

◇組み立てながら考える力 新庄市平均 ≒ 県平均

【広げながら考える力】

- ・ 資料を比較し、必要な情報を取り出す。

【深めながら考える力】

- ・ 資料の分析や解釈
- ・ 文章の要約

【新庄市全中学校】

○平均正答率 新庄市平均 ≒ 県平均

○観点別正答率

◇広げながら考える力 新庄市平均 ≒ 県平均

◇深めながら考える力 新庄市平均 ≒ 県平均

◇組み立てながら考える力 新庄市平均 > 県平均

【組み立てながら考える力】

- ・ 根拠を挙げて、自分の考えをはっきりさせる。
- ・ 筋道を立てて考える

小学校では、県平均と同程度の平均正答率であるが、やや上回っている。観点別正答率については、「広げながら考える力」と「組み立てながら考える力」が県平均と同程度であった。しかし、「深めながら考える力」については県平均を上回ることができた。ものごとに対する自分の見方や考え

方等を深めながら考える力の育成されてきている。

中学校も、平均正答率が県平均と同程度であった。観点別正答率については、「組み立てながら考える力」が県平均を上回ることができた。「広げながら考える力」と「深めながら考える力」が県平均と同程度合った。少しずつ、根拠を明確にしなが、自分の考えを筋道を立てて考えることができるようになってきている。

また、小中共に「記述」の部分の点数が県平均を上回っており、文章で説明したり、自分の考えを述べることができるようになってきている。

2 学習状況調査より

【新庄市全小学校】

- 学校に行くのが楽しいと感じている割合が県よりも大きい。
- 自尊感情が高く、将来の夢や目標をもっている。
- 授業中、友達と話し合うことで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思っている。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表している。
- 読書への興味が県よりも高い。
- 平日1時間以上家庭学習をしている割合が県よりも多い。
- 家庭学習では、自分で学習内容を決めて取り組みが弱い傾向にある。
- テレビゲームなどのゲームを1時間以上する割合が多い。

【新庄市全中学校】

- 学校に行くのが楽しいと感じている割合が県よりも大きい。
- 自尊感情が高く、将来の夢や目標をもっている。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表している。
- 読書への興味が県よりも高い。
- 家庭学習の時間が県より短く、疑問を調べたり間違いを直したりする取り組みが弱い傾向にある。
- テレビゲームなどのゲームを1時間以上する割合が多い。
- スマートフォンでの通話やインターネットの使用時間が長い。

小学校では、学習に対する意識や自尊感情などが高く、概ね良好な結果となっている。また、中学校では昨年度に比べ、学校生活に対する意識や自尊感情の高まりがみられるようになってきている。小学校、中学校ともに、家庭学習への取り組みやゲームやスマートフォンの使用時間に課題があり、家庭の協力が必要となっている。

3 今後に向けての取り組み

- ・各学校で調査結果について分析し、授業改善に向けて取り組んでいくようにする。
- ・教科等の本質を大切に、思考力・判断力・表現力等の育成につながる授業づくりを進めていく。
- ・まとめや振り返りの場を確実に設定し、ねらいに沿ったまとめや次時につながるような振り返りを行い、学習内容の定着状況を確実に評価していく。
- ・求められている3つの力を各教科でどのような授業がよいか、よい授業を紹介していく。
- ・家庭学習の取り組みやゲーム・スマートフォンの使用について効果をあげている学校の取り組みを紹介する。

アクションプランを受けた取組共有シート(参考にしたい取り組み)

1 基礎基本の定着に向けた取組

- ・特に算数において、適応問題を行う時間を10分以上取り、定着を図る。
- ・評価問題で、その時間の学習内容が身についたか確認する。
- ・授業前の時間(2分・3分)を活用し、復習問題に取り組みさせることで、生徒の基礎的・基本的学習内容の定着を図る。
- ・パワーアップタイムの時間に、算数の計算問題などに取り組む。
- ・月曜と金曜の放課後に15分間設定している補充学習が取れない場合、朝学習の時間帯に設定し、国・算の基礎基本の定着を図る。
- ・朝学習の時間(8:15~8:30)を充実させ、全校一斉に取り組む。(国語・算数を取り入れる)
- ・単元テストの目標得点(80点)に到達させるために、テストの3日前に予告し、再テストも確実に行う。
- ・チャレンジテストの基礎・基本問題の不合格児童は再テストを行い、合格まで取り組む。
- ・単元末には、基礎基本定着のための時間を必ず確保し、その後、単元テストを実施する。到達していない生徒については再度指導する。
- ・五教科チャレンジテストを実施する。不合格者へ個別の指導をする。

2 振り返りの場の設定・充実のための工夫

- ・振り返りを確実にを行うために、課題と振り返りから授業を構想する。また、導入をできるだけ、5分以内とする。
- ・振り返りの視点、条件を示す。
- ・授業の最後に、その日の問題を自学でもしてくるよう促し、家庭学習への意欲を持たせる。

3 家庭学習の充実のための工夫

- ・よい自学(思考力・判断力を高めている・学習量が充実している)を紹介する。(展示、掲示、学年通信など)
- ・週末には、「つまずき発見問題集」や「スパイス問題シート」などの発展的な課題を出し、主な間違いには、きちんと解説を加える。
- ・ファイト自学(基礎基本的な学習)ウィークとアイデア自学(思考力を高める学習)ウィークの2種類の自学ウィークを設定し、課題解決力を高めるとともに家庭学習の習慣を身につけさせる。
- ・宿題を忘れてきた場合には、その日の休み時間に取り組ませる。そのため、他の活動は極力設定しない。
- ・2、3年生は、学力向上(受験対策)のため、習熟度別のテキストを購入し、家庭学習で取り組みませ、定期的に点検する。意欲のある生徒(希望者)には、更に自学用のテキストを購入させ、主体的に取り組ませる。
- ・テスト週間のノーメディア(小学校・家庭との連携)を実施する。

4 県作成資料等の活用とその後の対応

- ・該当学年までの「つまずき発見問題集」に確実に取り組む。
- ・算数の授業において単元計画に位置付け、毎単元で必ず活用する。(導入、中心教材、評価問題として)
- ・単元評価において、「スパイス問題シート」「つまずき発見問題集」活用する。
- ・一単元、一学期等、一定の学習が終了した段階でつまずき発見問題集に集中して取り組む時間を設定する。全国学力学習状況調査の前にもう一度集中して取り組むようにする。
- ・スパイス問題は、ジャンプタイムで行ったり、週末難問として出すなど、フル活用する。週末難問として出した場合の解答は、月曜日か火曜日の朝学習の時間に行う。
- ・わくわく発見シートを、週末難問として出す。
- ・チャレンジタイム(朝会のない水曜日)は毎回、はばたき(裁量)は実情に応じてスパイス問題シート、活用問題に取り組む。実施後は児童に対して解説を行う。
- ・週末の課題の一つに「スパイス問題シート」「つまずき発見問題集」を加える。
- ・スパイスシート、つまずき発見問題集等を子どもが選択して自学で活用できるようにする。

平成29年度 新庄市 アクションプランを受けた取組共有シート

新庄市管内の各学校で共通して取り組むこと 及び 各学校における下記項目の取組を推進するための手立て

1 基礎基本の定着に向けた取組

・全国学力・学習状況調査「小学校算数A問題」「中学校数学A問題」3年間分において、新庄市の平均正答率が全国の平均正答率を3ポイントより下回った問題を提示し、基礎基本の定着に向けて重点的に取り組むよう指導する。

2 振り返りの場の設定・充実のための工夫

・本時の目標を達成することができたか把握するための問題に取り組む場や、本時で学んだことや考えたこと、疑問に残っていること等を文章で具体的に記述する活動を設定し、児童生徒の学びを確実に評価し、指導につなげるよう助言する。

3 授業と家庭学習をつなぎ、生徒の興味・関心を高める工夫

・「家庭学習への取り組み」や「ゲームの使用時間」に関する標語を各家庭に配付し、家庭学習の質の向上を図る。

4 県作成資料等の活用と、その後の対応・フィードバックの工夫

・学力向上研修会の際に、資料の活用方法とその後の対応の在り方について確認し、つまずきに対し具体的な手立てを講じるよう指導する。



探究型学習の推進等を通して

児童生徒から「わかった」「できた」という声を聞くために新庄市として取り組むこと

・全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、学力向上研修会を設定し、市の課題や改善策について共有化を図る。
・算数・数学における基礎基本の確実な定着に向けて、重点的に取り組む問題を提示し、つまずきの克服に向けた実践を行うよう指導する。
・考えの根拠や理由を中心に据えた学び合いを通して、本時の目標を達成することができたかという評価を確実にを行うよう指導する。

分析資料やアクションプランの活用を積極的に促し、着実に取組を進めていきましょう。

自校評価診断シート(小学校)

…今年度から新たに加わった質問

・各項目の後の(数字)は、学校質問紙の対応する項目です。

【生活習慣】

- 1 朝食を毎日食べている
- 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている
- 3 毎日、同じくらいの時刻に起きている

【阻害要因】

- ▲ 12 普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか
- 13 普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか
- 14 普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか

【自己肯定感】

- 4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- 5 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している
- 6 自分には、よいところがあると思う
- 7 友達の前で自分の考えや意見を発表するのは得意だ(15)
- 8 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる(16)
- 10 将来の夢や目標をもっている(45)
- 38 先生は、あなたのよいところを認めてくれている

【規範意識】

- 49 学校のきまりを守っている
- 50 友達との約束を守っている
- 51 人が困っているときは、進んで助けられている
- 52 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- 53 人の役に立つ人間になりたいと思う

【家族関係】

- 24 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか
- 25 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- 26 テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか
- 27 家の人(兄弟姉妹を除く)と将来のことについて話すことがありますか
- 28 家の人(兄弟姉妹を除く)は、学校の行事に来ますか

【学習意識】

- 66 400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しい
- ▲ 67 学校の授業などで、自分の考えを他人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい(44)
- 68 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている(36)

【地域・社会】

- 40 今住んでいる地域の行事に参加している
- 41 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある(50)
- 42 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- 43 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか
- 44 地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか
- 45 新聞を読んでいますか
- 46 テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか
- 65 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う

【家庭学習】

- 15 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
- 16 学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
- 29 自分で計画を立てて勉強をしている
- 30 学校の宿題をしている
- 31 学校の授業の予習をしている
- 32 学校の授業の復習をしている(90~)

【学校生活】

- 33 学校に行くのは楽しい
- 34 友達に会うのは楽しい
- 35 好きな授業がある
- 37 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある(46)

【読書】

- 18 学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
- 19 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(22),(82)
- 72 読書は好きだ

【外国への興味・関心】

- ▲ 47 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う
- ▲ 48 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思う

【学校質問紙】 以下の項目についてもチェックしてください。

- ▲ 28 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している
- ▲ 29 教育課程表について、各教科等の教科目標や内容の相互関連が分かるように作成している
- 34 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた
- 56 平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した
- 78 近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った

【道徳・総合】

- 36 学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている
- 54 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる(40)
- 64 道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う

【学習活動全般】

- 9 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる
- 11 授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている
- 39 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれる
- 55 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う
- 56 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う(37)
- 57 授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思う(39)
- 58 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う(41)
- 59 授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う
- 60 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う(19)
- 61 授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う(33)
- 62 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う(34)
- 63 授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う(38)

【関心・意欲・態度 国語】

- 69 国語の勉強は好きだ
- 70 国語の勉強は大切だ
- 71 国語の授業の内容はよく分かる
- 73 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ
- 77 今回の国語の問題について、全ての書く問題で最後まで書こうと努力した

【学び方 国語】

- 74 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている(66)
- 75 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組立てを工夫している
- 76 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている

【関心・意欲・態度 算数】

- ▲ 78 算数の勉強は好きだ
- 79 算数の勉強は大切だ
- ▲ 80 算数の授業の内容はよく分かる
- 81 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい
- 84 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ
- ▲ 88 今回の算数の問題について、全ての書く問題で最後まで書こうと努力した

【学び方 算数】

- 82 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える
- 83 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える(72)
- 85 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考える
- 86 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている
- 87 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている

自校評価診断シート(中学校)

…今年度から新たに加わった質問

・各項目の後の(数字)は、学校質問紙の対応する項目です。

【生活習慣】

- 1 朝食を毎日食べている
- ▲ 2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている
- ▲ 3 毎日、同じくらいの時刻に起きている

【阻害要因】

- ▲ 12 普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか
- ▲ 13 普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか
- ▲ 14 普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか

【自己肯定感】

- 4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- 5 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している
- 6 自分には、よいところがあると思う
- 7 友達の前で自分の考えや意見を発表するのは得意だ(15)
- 8 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる(16)
- 10 将来の夢や目標をもっている(45)
- 40 先生は、よいところを認めてくれている

【規範意識】

- 51 学校の規則を守っている
- 52 友達との約束を守っている
- 53 人が困っているときは、進んで助けている
- 54 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う
- 55 人の役に立つ人間になりたいと思う

【家族関係】

- 26 家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか
- 27 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか
- 28 テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか
- 29 家の人(兄弟姉妹を除く)と将来のことについて話すことがありますか
- 30 家の人(兄弟姉妹を除く)は、学校の行事に来ますか

【学習意識】

- 68 400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くことは難しい
- 69 学校の授業などで、自分の考えを他人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい(44)
- 70 生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている(36)

【地域・社会】

- 42 今住んでいる地域の行事に参加している
- 43 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある(50)
- 44 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある
- 45 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか
- 46 地域の大人に勉強やスポーツを教わってもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか
- 47 新聞を読んでいますか
- 48 テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか
- 67 授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う

【家庭学習】

- ▲ 15 学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
- 16 学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
- 31 自分で計画を立てて勉強をしている
- ▲ 32 学校の宿題をしている
- ▲ 33 学校の授業の予習をしている
- 34 学校の授業の復習をしている(88~95)

【学校生活】

- 35 学校に行くのは楽しい
- 36 友達に会うのは楽しい
- 37 好きな授業がある
- 39 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある(46)

【読書】

- 18 学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか
- 19 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(22),(81)
- 74 読書は好きだ

【外国への興味・関心】

- ▲ 49 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う
- ▲ 50 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思う

【道徳・総合】

- 38 学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている
- 56 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる(40)
- 66 道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思う

【学習活動全般】

- 9 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができる
- 11 授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている
- 41 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる
- 57 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う
- ▲ 58 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う(37)
- 59 授業では、生徒との間で話し合う活動をよく行っていたと思う(39)
- 60 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う(41)
- 61 授業で、生徒との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思う
- 62 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う(19)
- 63 授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思う(33)
- 64 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う(34)
- 65 授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思う(38)

【関心・意欲・態度 国語】

- 71 国語の勉強は好きだ
- 72 国語の勉強は大切だ
- ▲ 73 国語の授業の内容はよく分かる
- 75 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ
- ▲ 79 今回の国語の問題について、全ての書く問題で最後まで書こうと努力した

【学び方 国語】

- 76 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている(66)
- 77 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組立てを工夫している
- 78 国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いている

【関心・意欲・態度 数学】

- ▲ 80 数学の勉強は好きだ
- 81 数学の勉強は大切だ
- ▲ 82 数学の授業の内容はよく分かる
- 83 数学ができるようになりたい
- 86 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ
- ▲ 90 今回の数学の問題について、全ての書く問題で最後まで書こうと努力した

【学び方 数学】

- ▲ 84 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える
- 85 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える(72)
- 87 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考える
- 88 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしている
- ▲ 89 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている

【学校質問紙】 以下の項目についてもチェックしてください。

- ▲ 28 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している
- ▲ 29 教育課程表について、各教科等の教科目標や内容の相互関連が分かるように作成している
- 34 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた
- 56 平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した
- 77 近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った

新庄市教育委員会だより

平成29年11月10日 学校教育課

★★ 家庭での学習時間の改善が必要です ★★

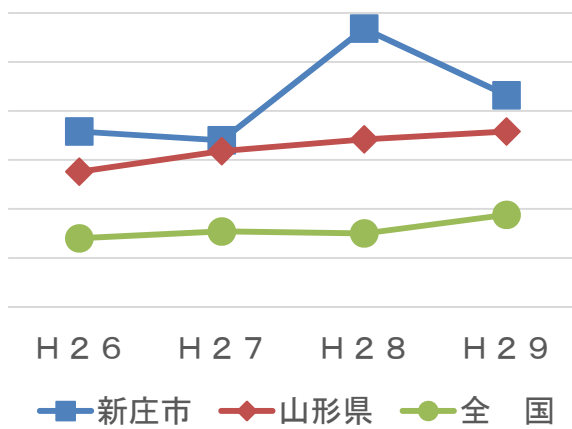
～ 平成29年度 全国学力・学習状況調査結果から ～

下のグラフは、今年4月に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果です。家庭学習に関しては、前年と同じような傾向が続いています。

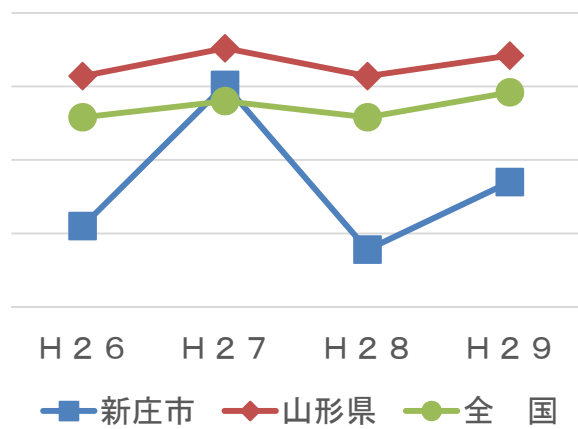
小学校：全国や県よりも1時間以上学習している割合は高い。しかし、昨年度に比べ、その割合が減っている。

中学校：昨年度に比べ、1時間以上学習している割合が改善傾向にある。しかし、依然、全国や県よりも低い。

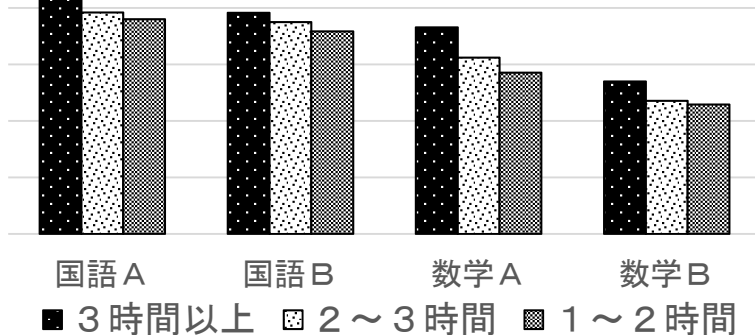
【小学6年生】平日1時間以上勉強している割合



【中学3年生】平日1時間以上勉強している割合



新庄市の【中学3年生】
平日の学習時間と正答率の関係



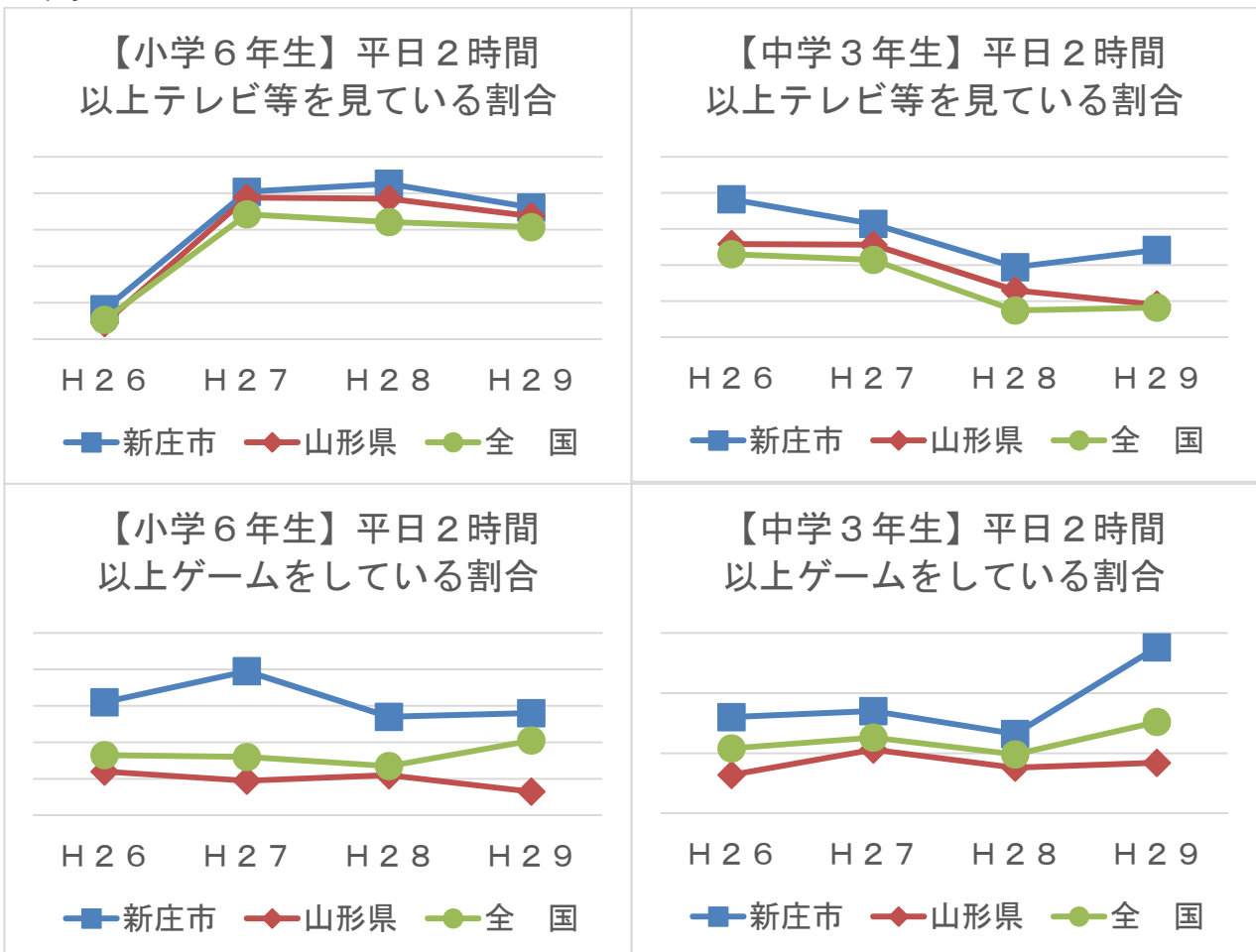
4月の委員会だよりでも、中学生には、学年プラス1時間の家庭学習をお願いしております。当然のことではありますが、家庭学習の時間が長いほど、正答率が高くなっています。特に、数学ではその傾向が顕著です。

新庄市の子どもたちの傾向として・・・

新庄市の子どもたちは家庭で何をしているのでしょうか。下の4つのグラフは、平日の「テレビ・ビデオ・DVD」の視聴時間と「テレビゲーム等」の時間の全国や県との比較です。

- ・小学校と中学校ともに、全国や県よりも2時間以上テレビやゲームをしている割合が高い。
- ・特に、中学校において、2時間以上テレビやゲームをしている割合が増加している。

中には、「テレビも2時間以上、ゲームも2時間以上、合わせて4時間以上」というお子さんもいます。家庭生活の多くの部分が、テレビとゲームに費やされていることが分かります。



ぜひ、お子さんと一緒に、ご家庭での子どもたちの生活の様子を振り返っていただければと思います。そして、家庭学習やテレビ・ゲームの時間について、ご家庭でのルール作りをお願いいたします。

<我が家のルール>

新庄市学力向上戦略

【新庄市児童生徒の学力学習状況】

◆ NRT

①小学校（H29、4月実施）

国語(大きく上回る) 社会(大きく上回る)
算数(上回る) 理科(大きく上回る)

②中学校（4月実施）

国語(上回る) 社会(上回る)
数学(同程度) 理科(上回る)
英語(下回る)

※中2の4月実施時に大きく下がる

◆ 全国学力・学習状況(小6、中3)

①小学校の学力（H29 全国比）

国語A（大きく下回る）国語B（下回る）
算数A、B（大きく下回る）

②中学校の学力（H29 全国比）

国語A、B（下回る）
数学A、B（大きく下回る）

※昨年よりは改善。5年間では、国語が良い年2年があったが、他は下回る

※小中とも上位層が薄く、下位層が厚い

③学習状況調査（H29 全国比）

・規範意識、地域活動参加は良い
・家庭学習短し、ゲーム、テレビ長し

※例年、同様な結果

◆ 県学力等調査（小5、中2）

①小学校（県平均よりやや上）

②中学校（県平均程度）

③学習状況調査 ※全国と同様

【成果を上げている取組】

- ・安定した学級経営
- ・単元レベルでの工夫
- ・学年で単元指導計画作成
- ・帯時間の設定
- ・ノートづくり（書く活動）
- ・子ども同士の学び合い
- ・振り返り、まとめの充実
- ・休業中の大学生による学習会
- ・中学校教員の小学校への乗り入れ（義務教育学校の教科担任制）

【成果があがらない原因】

- ・学級差、指導者間差がある
- ・評価が甘い
- ・学び合いが形だけ
- ・単元指導計画の吟味が弱い
- ・まとめ、振り返りが弱い
- ・つまずいたままに
- ・評価問題に課題
- ・家庭学習の時間が短い
- ・授業の参加意識は良いが、学びの意欲が弱い

【これまでの取組】

- ◆各学校
 - ・授業改善
 - ・共同の学び
 - ・大学講師等の招聘
 - ・日課表の工夫、基礎テスト
 - ・評価問題作成
 - ・全国学力・学習状況調査分析
 - ・アクションプラン作成、実施
- ◆市教委
 - ・課題別研修（研修所）
 - ・市委嘱、学校訪問等での指導
 - ・人的配置（個別学習指導員等）
 - ・義務教育学校
 - ・教育委員会たより（PTAに学習習慣づくりについて情報提供）
- ◆全国、県学力等調査分析、アクションプラン作成
- ◆県、教育事務所
 - ・スパイス問題、単元末問題作成
 - ・県探究型学習プロジェクト事業
 - ・要請訪問と研究会での指導、助言
 - ・もがみ授業づくりWS
 - ・最上地区学力向上プラン「授業レベルアップへ向けて（改訂版）」
 - ・教育マイスター

- ◆地元企業でも採用される学力、生きる力
- ◆高校教育に支障をきたさない学力、生きる力
- ◆医師等の家族も安心できる学力
- ◆困難に立ち向かう力、様々な問題に立ち向かう力

◆ 各学校の取組、対応

- ①授業改善(探究型学習の推進,新学習指導要領趣旨理解)
 - ・単元レベルでの工夫（単元指導計画の吟味）
 - ・学年内、教科担当間での同一指導計画での実践
 - ・評価を厳しく。評価問題の工夫
 - ・上位層に視点をあてた学びの事実の確認
 - ・まとめ、振り返りで求める姿の共有。ノートづくり
- ②日課表の工夫
 - ・補充の時間の確保。内容吟味
 - ・下の子に教える機会の確保
- ③キャリア教育の充実
 - ・キャリアシートの作成、振り返り

- 家庭
- ・親子読書
 - ・キャリアシートの共有
 - ・我が家のマイルール
 - ・家庭学習の習慣化

◆ 新庄市教育委員会の戦略・政策

- ・人的配置、ICTの活用
- ・ボランティア、地域力（退職公務員等）の活用
- ・放課後子ども教室、地域未来塾、休業日の学習相談会
- ・保護者向け「たより」、指針の作成
- ・単元指導計画、評価問題の収集と配付
- ・算数数学教員によるアクションプランの検証等
- ・教育研修所の「課題別研修」の実施、市委嘱
- ・過去3ケ年のつまずき問題分析

◆八向地区公民館の現状

平成 6 年に①八向運動広場への勤労者総合福祉センターの誘致、②旧八向地区公民館用地への児童センターの建設、③本合海地域公民館新設の条件整備の 3 点を当時の八向地区公民館建設促進協議会へ提案、了承されたことにより、平成 9 年旧本合海児童館の建物を八向地区公民館として設置した。地区公民館の設置以降「区長と市長のまちづくり会議」において、八向地区公民館の早期建設促進の要望が度々出され、地区の方々の協議を長年重ねてきたが、場所の選定や財政事情などの理由から、これまで事業の実施ができない状況が続いてきたが、昭和 40 年に建築された建物は老朽化が著しく早急な対策が必要な状況となっている。

◆検討の経過

(1) 本合海区長会からの提言

平成 28 年度に本合海地区町内会が実施した住民アンケートの報告書とともに、本合海区長会から「公民館改修の早期着工」の提言が出された。今年 6 月、本合海各区長等による公民館早期着工推進協議会が設立され、生涯学習施設としての地区公民館の存続と市直営の運営については現状のとおりとすることで決議しており、11 月末に要望書を提出する方向で現在進められている。

(2) 本合海以外の八向地区への対応

今年度の「区長と市長のまちづくり会議」において、ここ数年来の検討の経過について八向地区全区長への説明が必要との意見が出され、発言者である八向地区代表区長（長坂地区佐藤区長）に経過の説明を行い、今後の対応について協議した。これにより 12 月 11 日開催の市区長協議会ブロック研修会終了後に説明会を実施し、八向地区全体の情報の共有化と意見交換を行うこととした。

◆施設整備の方向性

八向地区の生涯学習施設として機能強化を図り、なおかつ本合海地域の災害時の緊急避難所としての機能を確保するため、早期建替えに向けて施設機能及び規模を調査するために、30 年度当初予算において調査費等計上していく。